

新事業展開型 株式会社イスマンジェイ

世界初、シリコン合金の量産体制の確立と製品化

新事業支援部 統括プロジェクトマネージャー 西澤 民夫

【ポイント】～市・県と中小機構の連携による経営技術総合支援の実施～

当社は、従来、技術者が否定をしていた燃焼合成法によるシリコン合金の量産体制を確立した創業9年目の新素材開発型ベンチャー企業。シリコン合金の比重は特殊鋼の40%と軽く、2倍の強度を持つため、鉄鋼の代替として今後大きな展開が期待されている。これまでに神奈川県や川崎市の各種の支援を受けながら量産体制の確立と製品開発を行ってきた。その後、平成20年度より「公設試・県センター・中小機構の新しい連携の仕組み創り」のモデルケースとして、市や県との連携により総合的な支援を実施してきた。渡邊社長とビジネスパートナーの強い信念のもと、業界関係者にやっと認められる状況となり、企業として本格的な発展段階になってきている。今後もハンズオン支援を継続して、製品アイテムの増大による売上高の拡大を図り、経営基盤を強固にしてIPOを目指していく。

企業概要

- ▶ 企業名：株式会社イスマンジェイ
- ▶ 業種：無機化学工業製品製造業
- ▶ 本社所在地：神奈川県川崎市川崎区南渡田町1-8 Think未来工房
- ▶ 資本金：335百万円
- ▶ 設立：平成14年7月
- ▶ 売上高：12百万円(平成22年1月期)
- ▶ 従業員数：32名



代表取締役 渡邊俊幸社長

渡邊社長は特殊鋼メーカーに入社後、中央研究所に配属され、加工しやすい固い鉄合金や自動車用特殊鋼の開発に従事していた。その経験から素材の重要性を痛感し、軽量で丈夫なシリコン合金の開発を思い立ったが、在職中には実現出来なかった。

常務取締役まで昇進した一部上場会社を退職後、64歳になった平成14年7月、ビジネスパートナーと共に、横浜市日吉で(株)イスマンジェイを設立し、シリコン合金の量産技術を確認すべく、「神奈川県創業期・製品化支援モデル事業」に採択され、大学や県産業技術センターの技術

支援を受けた。

その後、現住所に工場を新設し、川崎市産業振興財団が主催するかわさき起業家オーディションで「かわさき起業家大賞」を受賞すると同時に、同財団によってイスマンジェイに係わる関東経済産業局等の各支援機関などで構成される「川崎発新事業創出プロジェクト」が設立され、各支援機関が共同で積極的な支援を行っている。



シリコン合金の粉末



風力発電用ベアリングボール

神奈川産業振興センターによる新技術・新工法展示商談会に出展したところ、自動車メーカー等から多くの引き合いがあり、現在も商談中である。また、川崎国際環境技術展の出展を契機に、今年度からは外国企業との企業交流も進み、世界最大の風力発電メーカーから、大型ベアリングボールの量産試作品受注等もあり、各方面から注目を集めている。

本シリコン合金は、2010年日本APECでも展示紹介され、鉄の時代からシリコンの時代の実現に向け大きな展開が期待されている。

支援課題の設定とプロジェクト マネージャーの視点



西澤民夫 統括プロジェクトマネージャー

本支援は、これまで一貫して同社を支援してきた川崎市および神奈川県から支援協力要請を受けて、市・県と中小機構の連携によるベンチャー企業支援のモデルケースとして進める事とした。

これまで各機関による支援が進んでいるので、支援課題の設定に際しては、渡邊社長の支援要望を基に、県や市と調整し、優先順位を決め、前述のプロジェクトと連携を取り、情報を共有し、共通認識を持つようにした。

ハンズオン支援の実施にあたっては、喫緊の課題解決だけでなく、今後の世界的な事業展開も踏まえ、長期的な支援計画を立案し、幹部社員ぐるみの議論を行う事により、人材育成の効果も実現できるよう心掛けている。

支援内容と支援成果

専門家継続派遣事業の支援内容としては、革新的な新素材の量産と販売の本格的な立ち上げであったので、平成21年は「品質保証体制の構築」をテーマに、QC工程の確立、QMSの構築等の支援を行い、量産に向けた基盤整備を行った。平成22年からは、「実現可能な中期3カ年経営計画の策定と実行」をテーマに、経営

課題の明確化、各事業の事業戦略策定、実行のための組織体制整備、経営／財務管理能力の向上などについて支援を実施している。

支援成果に関しては、製造についての品質保証体制の構築が進み、製品出荷の体制が整った。経営計画策定については、現在も支援を行っているが、シリコン合金への関心が高まっている中で、今後の展開も含めた将来ビジョンが明確になりつつある。創業以来、研究開発型企业として積極的な開発投資を行ってきたが、未だに売上高がほとんど計上できず、増資と借入金で資金調達を行ってきた。現在も厳しい状況が続いているが、シリコン合金は鉄鋼の代替として注目され、波及効果が大きいことから、今後の事業展開を期待して支援を継続していきたい。

経営者のことば

シリコン合金の品質保証体制の構築は、半年間の短い期間にもかかわらず、的確なご指導をいただき、QC工程表の作成と運用、さらには品質マニュアルの作成まで予想以上のスピードで完成いたしました。おかげさまで、我々の教育にもなりました。

弊社は創業9年目で、さらにステップアップが求められ、重要な時期に来ています。経営計画についても、我々は製品化・商品化に目が行きがちですが、経営者が気づかないことも含め、将来ビジョンについても、引き続きご指導をお願いします。

